

No.679 (改題639号)
2025年
12月24日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

ひょうご

94 碑 物語

加古川河口東側一帯は、陸軍の飛行場があった場所、公民館はその跡地の一角にある。

同館では、飛行場建設から敗戦に至る貴重な資料がデジタル化され公開されている。

資料によれば、飛行場は、農家などを市内各所のほか加西や加東に立ち退かせて1937(昭和12)年に造られ、戦闘機部隊と飛行兵の操縦教育隊を配置。周辺には航空分廠や通信学校、高射砲隊など関連施設があった。

太平洋戦争勃発とともに、ここで編成された飛行戦隊は関西の防空はもとより、フィリピンなど



加古川河口東側一帯はかつて陸軍の飛行場があった場所、その跡地の一角にある公民館には当時の貴重な資料がデジタル化され公開されている

【メモ】公民館へはJR加古川駅南から「かこバス」で10分。

陸軍加古川飛行場跡の碑

(加古川市尾上町池田)

「加古川飛行場を記録する会」が収集した膨大な資料集だ。

資料によれば、飛行場は、農家などを市内各所のほか加西や加東に立ち退かせて1937(昭和12)年に造られ、戦闘機部隊と飛行兵の操縦教育隊を配置。周辺には航空分廠や通信学校、高射砲隊など関連施設があった。

太平洋戦争勃発とともに、ここで編成された飛行戦隊は関西の防空はもとより、フィリピンなど

今こそ非武装中立を 2025平和のつどい

アイ女性会議ひょうごが主催 12・6



コスタリカの実例をあげながら「非武装中立こそ恒久平和への道」と熱く訴えた花岡蔚さん=12月6日、神戸市長田区

花岡蔚さんが講演

アイ女性会議ひょうごは毎年12月8日の太平洋戦争開戦の日前後に、加害の歴史を忘れないと「平和のつどい」を開催しているが、今年も12月6日、「今こそ非武装中立を 恒久平和のつどい」をテーマに講演会を開いた。



花岡蔚さん

超エリートといえる異色の経歴に加え、クラリネット、サックス、三味線などでもこなす花岡さんらしく、講演は花岡さん自作自演の反戦音頭から始まった。

アイ女性会議ひょうごも毎月の街頭宣伝行動の際に「軍拡反対」という

スローガンを書いたバナナを掲げているが、花岡さんは、「軍拡NO!」や「軍縮」という表現は軍隊の存在を前提としていて、私は好きでない。また、「小さい軍隊ならいい」ということにも与しないし、「専守防衛ならいい」という人もいるだろうが、どこまでが適切か決めようがない」と話を切り出し、「非武装中立」こそ、戦争を防ぐ、戦争に巻き込まれない、戦争の被害を受けない一番有効な手立てである」と力説した。

コスタリカを何度も訪れ、コスタリカをつぶさに見て回った経験を持つ花岡さんは、そのコスタリカを実例に非武装中立の正しさを訴えた。こうして、非武装中立は理想論でも、「白旗論」でもなく、戦争に反対す

松山市で全国交流集会

「コミュニティ・ユニオン全国ネットワーク

「おしらせ」今年1年の本紙のご購読に感謝致します。次号は2026年1月21日付発行の合併号となります。【編集部】

特別報告では愛媛からJAL不当解雇撤回闘争、京都から大谷専修学院闘争、札幌から大学非常勤講師、広島から外国人労働者をめぐる闘争など教訓に満ちた発言が行われた。特に京都ユニオンからは真宗大谷派の宗教団体での教職員の不当配転をめぐり裁判闘争という異色の取り組みが報告された。



兵庫からも6地域ユニオンなどから27人が参加した全国交流集会=11月29日、愛媛県松山市

水脈

就任して間もない、しかも異常に高い支持率を保持している高市首相だからか、いま、高市首相の発言にはいろいろな反応がある▼白けてしまったのは、今年の新語・流行語大賞。いつもさほど気にもかけないが、さすがに今年の「働いて×5」には呆れて腹立たしさまで覚えた。いつ、どこで流行ったのだろうか? 首相たるものが自ら「ワーク・ライフ・バランス」を捨てて」と言い放った不適切な発言が、なんと流行語大賞だ。この付度ぶりには呆れてしまう▼「そんなことより!!」も、もっともでない発言が、例の台湾有事をめぐる存立危機事態、すなわち集団的自衛権の行使(武力行使)の可能性を明白に語った国会答弁だ。たちまち日中関係を急速に悪化させ、日々、両国間の緊張を高めてきている。だが、発言撤回の意志はまったくない▼しかし、中国側の対応も異常だが、驚いてしまうのは、日本国内の昨今の風潮だ。「質問をした野党議員の方が悪い」と批判の矛先が逆に向く。「サナエあれば憂いなし」なる新語も飛び出す始末▼戦後80年という節目の年の暮れ、この国は新首相の下に再び危うい道を歩み出しているのか。

賑わった「水道筋さんま祭り」

神戸・東北・能登をつなぐ

ろっこう医療生活協同組合が主催



1300尾用意された大船渡産のサンマの炭火焼きを求めて長蛇の列ができた=11月29日、神戸市灘区

ろっこう医療生活協同組合（小西達也理事長）が主催した「水道筋さんま祭り」が11月29日、阪急王子駅近くの青谷川街園とその周辺で開かれ、

近所の多くの住民らが集まって岩手県大船渡産の美味しいサンマを味わった。地元の水道筋ひだまり商店街が共催した。同「さんま祭り」には

「神戸・東北・能登をつなぐ」のストーリーガンが掲げられ、東日本大震災や能登半島地震への支援をも目的に開かれたもの。ろっこう医療生活協同組合は、阪神・淡路大震災の際、全国各地から大きな支援を受けたため、その「お返し」として東日本大震災では大船渡市の仮設住宅で入居者の健康チェックをするなど、長期にわたってスタッフを派遣して支援を続けてきた経過がある。このことをきっかけに約10年前に「さんま祭り」を始めた

「さんま祭り」を始めたが、その後、コロナ禍やサンマの不漁などの影響で中断。今年、サンマが豊漁ということもあり、阪神・淡路大震災30年を機に復活させた。大船渡から直送されたサンマは1300尾。1人2尾までの販売で引換券は2時間で完売。ドラム缶コンロ4体を使った炭火でじっくり焼かれたサンマの焼き上がりを待つ人の長蛇の列ができた。会場には石川県能登町の地酒も用意され、これも完売した。

このほか、ひだまり商店街では、手作りのケーキの販売や、紙笛・紙ストローの竹とんぼの工作コーナー、落書き広場などもあり子どもたちも大いに楽しんだ。また、近

所の音楽スクールの子どもたちのピアノ演奏の披露も祭りに彩りを添えた。スタッフの労も報われた。町に送られる。

あわはら富夫神戸市議も参加

川越市で全国自治体議員研修

全国自治体労働運動研究会が主催する自治体議員の研修が11月24、25日の両日、埼玉県川越市で行われ、講演や交流に学ぶとともに同市の観光行動などの事業の視察を行った。

あわはら富夫神戸市議が、「参院選後の高市自維研が主催する自治体議員の研修が11月24、25日の両日、埼玉県川越市で行われ、講演や交流に学ぶとともに同市の観光行動などの事業の視察を行った。

その後の議会活動交流では、田中健次・山口県防府市議から「太陽光発電規制」、増田光利・茨城県八千代町議から「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書採択」などの報告が行われた。そのうち、労働運動研究家の石河康国さんからは「当面する政局と自治体行政の行方」について講演を受けた。

右寄りの風が際立った

いよいよ年の瀬である。昨年の今頃、われわれはどんな景色を眺めていたのだろうか。10月に行われた総選挙で、自公政権は過半数を失う敗北を喫し、政治の風向きに変化を感じる人も多かった。

また、日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、人類の悲願と言われてきた原水爆禁止運動の先行きに光を感じ取る喜びを見出す人も少なくなかった。

海外の出来事としては、トランプの2度目の大統領就任である。それから1年。米の高値を代表のようにして打ち続いた物価高騰をバックにして、夏の参議院選挙における自公陣営の敗退、晩秋の自民・維新連立政権の出現という経過であった。

高市風（たご）に吹いた風

参院選で敗北した石破首相をそのまま続けさせようという自民党周辺の

「神戸・東北・能登をつなぐ」のストーリーガンが掲げられ、東日本大震災や能登半島地震への支援をも目的に開かれたもの。ろっこう医療生活協同組合は、阪神・淡路大震災の際、全国各地から大きな支援を受けたため、その「お返し」として東日本大震災では大船渡市の仮設住宅で入居者の健康チェックをするなど、長期にわたってスタッフを派遣して支援を続けてきた経過がある。このことをきっかけに約10年前に「さんま祭り」を始めた

「さんま祭り」を始めたが、その後、コロナ禍やサンマの不漁などの影響で中断。今年、サンマが豊漁ということもあり、阪神・淡路大震災30年を機に復活させた。大船渡から直送されたサンマは1300尾。1人2尾までの販売で引換券は2時間で完売。ドラム缶コンロ4体を使った炭火でじっくり焼かれたサンマの焼き上がりを待つ人の長蛇の列ができた。会場には石川県能登町の地酒も用意され、これも完売した。

来年は憲法公布80年の年

高市政権にしつかり対峙を

市首相は、党首討論を見ても、国会答弁を聞いても、相手を抱擁したり、感動させたり、譲歩したり、妥協したりすることが不得意な（出来ない）政治家と思われる。女性だから「俺が、俺が」と言わないだろうか、前のめりになる。言葉を変えれば、屈服させることしかできないタイプである。このタイプが成功するためには、柔軟な参謀が傍にいるか、自ら強い部隊を掌握しているかが必須であるが、おそらくそれを欠いているのだろう。予

われわれはケンカ腰、あるいは挑発的という言葉を冠するが、高市首相の言葉遣いにはそれを感じる。それに持ち出す政策、安保3文書の書き直し、軍事費GDP比2%の前倒

われわれは、いま敵が安保関連政策をまるごと聖域のようにしてないか、もし聖域のような感覚に引きずり込まれているとすれば、重大な劣化である。われわれのたたかう力の一つの間にか錆びつかせることにならないか。来年2026年は、日本国憲法公布80年の年である。

高市が持ち出してくる反動法案を真正面から取り上げ対決しよう。それなしにはわれわれの闘争エネルギーを磨き鍛えることはできない。

高市政権の際限のない軍拡・戦争準備の政策に、新社会党の主張である「非武装中立」などを訴える内容だ。うちにも貼ってやろうという方はぜひ新社会党兵庫本部までご連絡ください。

総がかり行動兵庫の

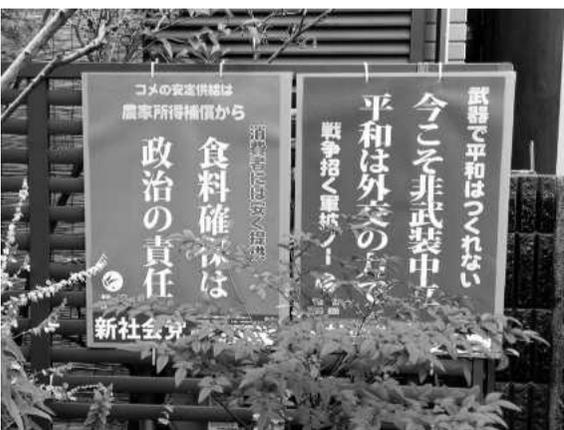
26「5・3兵庫憲法集会」

開催要綱決定

- 戦争させない、9条壊すな！ 5・3兵庫憲法集会
- 5月3日(日)13時~14時(終了後パレード)
- 神戸・みなとのもり公園(予定)
- メインゲスト 井上つぐみさん(広島・被爆体験伝承医師)、元高校生平和大使)
- 音楽ゲスト 川口真由美さん

掲示にご協力下さい

新社会党の政策ポスター



支持者宅に貼られた新社会党の政策ポスター

新社会党の新しい政策ポスター(2種類)ができ、いま各地域の党組織では支持者宅などに掲示してもらおう活動に取り組んでいる。

私の主張

高市風（たご）に吹いた風

参院選で敗北した石破首相をそのまま続けさせようという自民党周辺の

われわれはケンカ腰、あるいは挑発的という言葉を冠するが、高市首相の言葉遣いにはそれを感じる。それに持ち出す政策、安保3文書の書き直し、軍事費GDP比2%の前倒

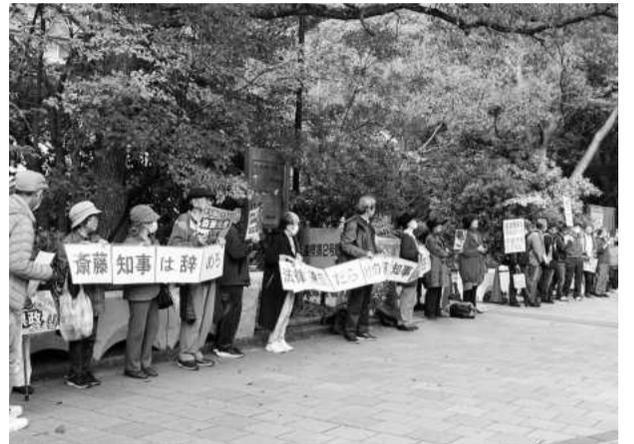
われわれは、いま敵が安保関連政策をまるごと聖域のようにしてないか、もし聖域のような感覚に引きずり込まれているとすれば、重大な劣化である。われわれのたたかう力の一つの間にか錆びつかせることにならないか。来年2026年は、日本国憲法公布80年の年である。

高市が持ち出してくる反動法案を真正面から取り上げ対決しよう。それなしにはわれわれの闘争エネルギーを磨き鍛えることはできない。

高市政権の際限のない軍拡・戦争準備の政策に、新社会党の主張である「非武装中立」などを訴える内容だ。うちにも貼ってやろうという方はぜひ新社会党兵庫本部までご連絡ください。

斎藤知事はただちに辞めろ

地公法違反での刑事告発は捜査中 県庁前ヒューマンチェーン第6波



12月県会の開始日には県庁2号館前で第6波のヒューマンチェーンが行われた=12月2日

日にも第7波のヒューマンチェーンが行われた。

斎藤知事告発問題では、知事選で「2馬力選挙」で斎藤知事を応援したNHK党の立花孝志党首が11月9日、1月に死去した竹内英明元県議をデマで中傷したとして名誉毀損の疑いで兵庫県警に逮捕され、起訴後も保釈が

認められず勾留が続いている。

一方、斎藤知事陣営がPR会社に支払った報酬をめぐる公職選挙法違反の疑いで書類送検されていた事件では、検察は斎藤知事とPR会社社長を「嫌疑不十分」として不起訴とした。これを受け、刑事告発した神戸学院大学の脇野之教授らは神戸

戸地検の不起訴処分を不服として検察審査会に審査を申し立てた。

さらに一方、内部告発を行った元県民局長の私的情報を前総務部長が県議に漏洩した問題では、斎藤知事が漏洩の指示をしたとして地方公務員法違反容疑で刑事告発され、捜査が継続している。

(中村)

加古川で

平和と憲法を考えるつどい

有事法制に対するネットワーク東播磨



講演する壺井宏康さん

有事法制に反対するネットワーク東播磨は12月7日、第22回平和と憲法を考えるつどいを東播磨生活創造センターで開き、被爆2世の壺

井宏泰さん(高校の物理の教員)が講演を行った。「父親は広島で被爆し、50歳半ばから世界中で被爆体験を語り始めた。その思いは、①アメリカとソ連(今のロシア)が核兵器を増強し核戦争の危機が大きくなっていること、②二度と核兵器が使

われないならず、そのために、原爆の悲惨さ、非人間的性を世界に訴える必要があること、③自分の体験した苦しみや二度と繰り返してはならないことだった」「そして今、その息子の私が3年前から被爆2世として被爆の実相を伝える活動を始めてい」「などと語った。写真や父親が体験した被爆の絵などを使っての講演だった。お話とスライドによりリアルに「核」の恐ろしさが伝わった。

会場からは「差別も受け、きつと辛い思いをさせてきただろうが、なぜいま語り部をされるのか」との質問が出たが、壺井さんは、「ロシアのウクライナへの侵略、卒業生らの語り部運動、風化が始まっているアウシュビッツでの経験、被爆者の高齢化などへの思いがあり、いま私がしなければ、との思いで始めた」と答えた。

さらに、「今後は世界のひとと『もたれ』になることでより戦争の道は防げる」とも訴えた。

前日には東京でのユネスコの会議に参加するなど、壺井さんの精力的な活動の姿から、「核と人類は共存できない。戦争をさせない」との思いが強く伝わってきた。

(藤井)

今回の報告は、比較的順調に要求が解決した事例の紹介である。

県外の某ネイルサロンに勤務していたAさんから姫路ユニオンに労働相談があった。相談者は経営者であるS氏から店長として雇用され、一昨年9月から今年6月まで勤務していた。今年4月頃からプライバシーの侵害や経営者の背任行為が疑われる事象が度々見られたため、相談者はS氏に対して改善を求めたが、会社側の対応は十分なものではなかった。彼女は「このまま業務を続けることは困難である」と感じ、「一身上の都合」という理由で退職したが、離職理由を「会社都合」に変更するよう交渉を求めたいというのが相談内容であった。

使用済み核燃料の

乾式貯蔵はNO!

高浜で全国集会開く

11・30

昨年11月の斎藤知事再選から1年が経過したが、この間、斎藤知事をめぐっては公益通報者保護法違反、公職選挙法違反、地方公務員法違反などの刑事告訴・告発が行われてきた。また、県議会百条委員会や知事自らが設置した県の第三者委員会の報告も出され、斎藤知事のバウハラ行為や公益通報者保護法違反などが認定された。にもかかわらず、知事はこれらの報告を受け入れようとはせず、3人の自死者を出しながらも知事の座に居座り続けている。

一方、斎藤知事の辞職を求める県民の行動も続

けられ、12月県議会開会の2日、斎藤知事の辞職を求める県庁前ヒューマンチェーンの第6波が行われ、約70人が行動に参加した。参加者は「斎藤知事が辞めるまで抗議を続ける」「県議会は主体性をもって知事の責任を追及して欲しい」など、マイクリレーを続けた。

18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

た18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

た18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。



高浜原発ゲート前での抗議行動=11月30日、福井県高浜町

使用済み核燃料の「乾式貯蔵」で原発の延命を目論む関西電力に対し、「原発つづけるための乾

式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

た18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

た18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

た18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

た18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

た18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

た18人は、朝8時に神戸式貯蔵NO!高浜全国集会)が11月30日、福井県高浜町で開かれた。

労働組合つぶしを許すな 関西生コン無罪を勝ち取ろう 2026関生元旦行動



今年の元旦行動

有の大弾圧に抗し、2025年は着実に無罪判決を重ねたといえる1年となった。

来年こそ完全勝利の年にしよう、2026年最初の行動として、来年の元旦も大阪府警本部前で午前10時から「元旦行動」が取り組まれる。

無罪判決を勝ち取ろう! 2026元旦行動

●大阪府警本部前
※大阪メトロ谷町線・谷町4丁目駅下車
・1A号出口徒歩6分
・1B号出口徒歩5分

比較的に要求が順調に解決した事案

今回の報告は、比較的順調に要求が解決した事例の紹介である。

県外の某ネイルサロンに勤務していたAさんから姫路ユニオンに労働相談があった。相談者は経営者であるS氏から店長として雇用され、一昨年9月から今年6月まで勤務していた。今年4月頃からプライバシーの侵害や経営者の背任行為が疑われる事象が度々見られたため、相談者はS氏に対して改善を求めたが、会社側の対応は十分なものではなかった。彼女は「このまま業務を続けることは困難である」と感じ、「一身上の都合」という理由で退職したが、離職理由を「会社都合」に変更するよう交渉を求めたいというのが相談内容であった。

ユニオンでは、就労先に対して団体交渉を申し入れた。申し入れ書では、Aさんが退職を申し出るに至った背景として、

若者のひろば

今年、50歳になった。23歳から仕事に就き、①育児休暇(10カ月)、②腰痛による休職(12カ月)、③市議会議員立候補準備と再就職までの期間(12カ月)を除くとおよそ24年間働いてきたことになる。全て、障がい者福祉の現場だった。

最初に勤めた障がい者施設は、一般にはあまり馴染みがないであろう重症心身障がい児者施設だった。強度行動障害と診断され自身で食事・排泄などは可能だが、強いこだわりなどで日常生活に支障がある方や、人工呼吸器がなければ生きていけない最も重度の方が混在する最大180人を受け入れられる巨大施設だった。私が様々な不満(例えば人員が少ないため負担が大きいなど)を同僚に話すと「他の施設に比べれば待遇が良い(主に賃金)」と、なかなか理解が得られず団結できなかった。

現在は障がい者グループホームに勤めているが、賃金はかなり減った。多くの小規模施設は正社員がわずかで、ほとんどをパートで賄い、低賃金が当たり前である。外から見れば確かに「福祉施設」の中では恵まれていたと痛感した。

そして今は夜勤が基本

の勤務形態になった。5人が生活をされているが、日中は全員がデイサービスや作業所に通っている。ケアが必要なのは帰宅してから翌日の通所までの夜間となる。帰宅後は食事や入浴介助が主な業務で、22時の消灯後は安全確保の時間となる。

障がい者福祉の現場

嘔吐の有無などに注意して気が抜けない。仮眠を2時間取れるが、ワンオペではほぼ休めないのが現状である。朝は食事を作らなければならぬのだが、刻んだりミキサーにかけての形態も様々なので時間がかかる。食事介助中も、他の方が「トイレに行きたい」と何度も要望されたり、気付けばホームからいなくなる方がいたり本当に慌ただしく、ストレスも最高潮に達する。朝、利用者が出勤することでようやくストレスからは解放されるが記録など残務があり、ほぼ毎回超勤せざるを得ない。何度も退職を考えたが2年続いた。

夜中に大きな足音を立てリビングを歩き回ったり、大声で叫んだりして他の利用者を起こしてしまう方がいて、「如何に寝ていただくか」が仕事になる。また、腸閉塞を起こしやすい方は閉塞すれば緊急搬送(救急車の要請)しなければならないので、

現場以外の求人がないと言われた過去があり、再就職しても条件は大差ないか、悪化する。新たに人間関係を構築する努力を考えると現状で踏ん張るしかないが、福祉業界はさらに労働環境が厳しくなる一方である。求人に応募がない、元々低賃金の上、賃上げが望めないなど施設単位では解消できない問題が山積しており、結局は政治を変えなければならないという結論に至る。(要弘太)



『戦争と法 命と暮らしは守られるのか』

永井幸寿著／岩波新書／1060円＋税

著者の永井幸寿さんといえば、阪神・淡路大震災で事務所が全壊するという体験から、その後ずっと災害関連法制にかかわり、日弁連災害復興支援委員会委員長なども歴任しながら、岩波ブックレット『憲法に緊急事態条項は必要か』を発刊する(2016年)など、災害対策に精通したその分野の第一人者として著名な弁護士だ。その永井さんがこの夏、岩波新書で『戦争と法 命と暮らしは守られるのか』を出版された。

本棚

いま、台湾有事をめぐる高市首相の国会答弁によって日中関係が急速に悪化、緊張関係が日々強まっているなか、驚くことにこの高市発言を評価する向きは世論調査でも決して低くない。とくに若い世代では。しかし、台

戦争がもたらす被害のリアル

はいったい何だろうかと思う。まさに、戦争のリアルな認識の欠如ではないかと考えた。そんなとき、戦争のリアル、そのもとの戦争被害のリアルにふれるのびびりたりなのが本書である。序章にはこうある。「日本が戦争が起きた場合、私たちの命と暮らしがどのようなのか、日本や外国における過去の例を見ながら、皆さんと一緒に考えてみたい。そして、「本書は、……法制度に基づいて冷静に」戦争で引用者」どのようなこ

とが起きるのかを考えるものです。そうした立場に立ち、本書では戦争に関する法制度について過去の歴史や諸外国の実例などもついでに紹介・解説しながら、日本の法制度の問題点についても指摘するが、永井さんの視点は、つねに「一般の市民の命と暮らしがどうなるのか」で貫かれている。戦争が起きた場合、つねに犠牲となるのが一般の市民であって、そこにこそ戦争被害の

リアルが浮かび上がる。永井さんのまなざしはつねにそこに向く。と同時に、国家というものの冷酷さ、冷酷さも厳しく立ち現れてくる。戦争被害の「受任論」もそうだ。こうした叙述の原点とも言えるのが、永井さんご自身も「あとがき」で述べられているように、1968年、中学1年生のときに出会った雑誌『暮らしの手帳』の戦争中の暮らしの特集で、そこに掲載されていた読者の戦争体験談なのだろう。「戦争というものを抽象

的に考えるのではなく、戦争によって具体的に国民の命と暮らしがどうなるかという目でみなければならぬ」と教えられたとある。そして、「この本をずっと持っていて内容を伝えよう」と決心したとある。

ちなみに、本書の構成は以下の通り。

- ◇序章 有事とは何か
- ◇第1章 「もしも」のための法制度―災害法制と国民保護法制
- ◇第2章 もし、戦争が起きたら
- ◇第3章 核がもたらすもの―原発事故・原爆投下の時
- ◇第4章 戦争についての法律とは
- ◇第5章 戦争のとき、国は何を守るのか
- ◇第6章 憲法改正と緊急事態条項
- ◇おわりに「戦争を回避するためには個人的にどうに関心を持ったのか」第5章。国を守るには国家であって国民ではないという事実であり、その章で紹介されている沖縄戦や満蒙開拓団などの悲劇の実態であった。戦争が生み出すものは破壊と市民の悲劇ではない。

(上野恵司)

モンテ・クリスト伯

これまで数多くの映画やドラマで映像化されてきた、日本でも「巖窟王」の名で親しまれている小説が、新たに映画化された。「復讐劇の金字塔」とも称されるドラマチックな展開は、ロマンス、サスペンス、アクションの枠を超え、激しい情念が渦巻く「究極の人間ドラマ」として、現代の私た

ちの心をも揺さぶる。フランス革命の余波が残る1815年のフランス。若き航海士エドモン・ダンテスは長きにわたる航海を終え、マルセイユの港に寄港した。船会社のオーナーから次期船長を約束され、愛する女性メルセデスとの結婚も決まり、まさに仕事もプライベートも充実した幸せな日々を送っていた。しかし、そんなダンテスを妬む2人の男、フェルナンとダンテスグラーの策略により、無実の罪で逮捕され、監獄に送られてしまう。さらに、

自分の状況が理解できないまま恋人と引き裂かれたダンテスを取り調べた検事代理のヴィルホールは、自分の立場が危うくなることを恐れ、無実の罪であることを知りながら離島の監獄に投獄してしまう。送り込まれた先は、誰ひとりとして生きて出た者はいないという監獄で、薄暗く不潔な獄中にわくもわくからず放り込まれたダンテスは、一時生きる気力を失うほど絶望してしまう。

徐々に生きる力を取り戻していく。そして、フェリア神父と話す中で自分を陥れたのは、フェルナン、ダンテスグラー、ヴィルホールの3人であることが知り、復讐への強い思いを燃えさせた。さら



それからさらに9年後、ダンテスは莫大な財宝を手に入れ、架空の大富豪モンテ・クリスト伯になります。約3時間という長尺の作品だが、大勢の登場人物が群雄割拠しながら、それぞれのキャラクターを情豊かに演じている。優雅な娯楽大作である。

(直)

監督 II アレクサンドル・ド・ラ・パトリエール、マチュー・デラポルト/2024年ノフランス/178分

シネマランド

復讐劇「巖窟王」の新たな映画化

派がにらみ合う状況があった。当時のそうした緊